

稲沢市コミュニティバス
及びコミュニティタクシー
利用状況等報告書【改訂版】

平成 24 年 7 月
市長公室地域振興課

目 次

1 コミュニティバス事業の概要及び経緯	1
2 コミュニティバスの利用状況	1
(1) コミュニティバスの1日当たり及び1便当たりの利用者数	1
(2) コミュニティバスの曜日別利用者数	4
(3) コミュニティバスの追加便運行状況	5
3 コミュニティタクシーの利用状況	6
4 試行運行期間と本格運行開始後におけるコミュニティバスの各種比較	8
(1) 各運行路線の1便当たりの利用者数の比較	8
(2) 各運行路線の利用者1人当たりの運行経費における市負担額の比較	11

※ 改訂の主旨

第15回 稲沢市地域公共交通会議（平成23年9月6日開催）において本市コミュニティバス及びコミュニティタクシー利用状況等の報告に用いた『資料番号1』に、各運行路線の利用者1人当たりの運行経費における市負担額の算出方法に誤りがありました。

そのため、「4 (2) 各運行路線の利用者1人当たりの運行経費における市負担額の比較」における記述、グラフを修正するものです。

1 コミュニティバス事業の概要及び経緯

稲沢市地域公共交通会議で協議した『コミュニティバス運行事業計画』に基づいて、平成20年7月1日から平成22年6月30日までの2年間、2路線（東西幹線、南北幹線）を乗車定員9人の運行車両3台（東西幹線2台、南北幹線1台）でコミュニティバスを、また、旧祖父江町区域内でタクシー車両によるコミュニティタクシーを試行運行しました。

同会議では、この期間における利用状況、乗降調査及び市民アンケートの結果を研究・分析し、『コミュニティバス運行事業計画』における課題と問題点を整理して、利便性の向上等を目的として運行路線、運行車両及び時刻表等の変更について協議検討を重ね、『計画』の変更を行いました。

平成22年6月に中部運輸局の認可を得て、平成22年7月1日から3路線4系統（祖父江・下津線<ふれあいの郷系統及び地泉院系統>を乗車定員14人の運行車両2台で、平和・千代田線及び大里循環線を乗車定員9人の運行車両2台で、計4台によるコミュニティバス事業と、旧祖父江町区域内のコミュニティタクシーによって本格運行を開始し、1年が経過しました。

この『報告書』は、平成22年7月1日（木）から平成23年6月30日（木）までの1年間におけるコミュニティバス並びにコミュニティタクシーの利用状況についてまとめたものです。

2 コミュニティバスの利用状況

(1) コミュニティバスの1日当たり及び1便当たりの利用者数

コミュニティバスの1日当たりの利用者数及び1便当たりの利用者数は、次ページの表のとおりとなります。

試行運行期間（平成20年7月1日～平成22年6月30日）における1日当たりの利用者数の平均は152人でしたが、平成22年7月1日以降の1年間における平均は183人となり、約20%増加しています。

また、コミュニティバス1便当たりの利用者数の平均の変化を路線別に比較してみると、東西幹線上り7.8人に対して祖父江・下津線JR稲沢駅方面9.3人（約19%増）、東西幹線下り8.0人に対して祖父江・下津線祖父江方面7.2人（約10%減）となっています。

また、南北幹線は平和・千代田線と大里循環線の2路線に分けたので、それぞれの路線を比較してみると、南北幹線上り3.7人に対して平和・千代田線市民会館・中央図書館行き3.2人（約14%減）、南北幹線下り3.7人に対して平和・千代田線千代田・平和方面2.9人（約22%減）、南北幹線 上り・下りを合わせた3.7人に対して大里循環線6.4人（約73%増）となっています。

大里循環線は、運行路線の区間「アピタ稲沢店～市民会館・中央図書館」が祖父江・下津線と重複しており、この区間の利用者が多いため、南北幹線と比較いたしますと大

幅な利用者数の増加となったものです。

なお、平成 23 年 6 月（運行日数 26 日）には 3 路線の総利用者数が 5,081 人と、初めて 5,000 人を超え、また、1 日当りの利用者数も 196 人と、この 1 年間で最も多い月でした。

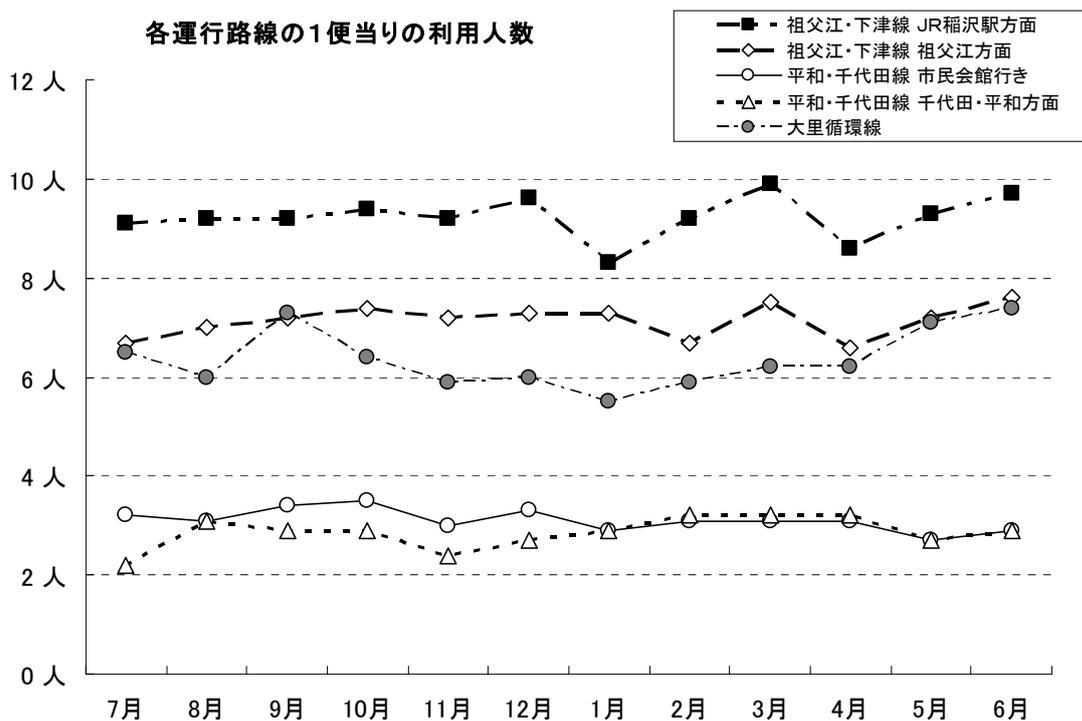
これは、大里循環線の利用者数が 1,152 人と、同線の 1 か月の平均利用者数 934 人を大幅に上回った（約 23%増）ことが要因ですが、その主な理由は今後の推移を見ながら精査してまいります。

○ コミュニティバス路線別の利用者数

路 線 月（ ） は運行日数	祖父江・ 下津線	祖父江・ 下津線	小 計	平和・ 千代田線	平和・ 千代田線	小 計	大里 循環線 (6 便)	合 計	1 日当り 利用者数
	JR 稲沢 駅方面 (7 便)	祖父江 方面 (8 便)		市民会館 行き (4 便)	千代田・ 平和方面 (4 便)				
平成 22 年 7 月(26 日)	1,649 人	1,403 人	3,052 人	303 人	252 人	555 人	1,008 人	4,615 人	178 人
8 月(26 日)	1,672 人	1,458 人	3,130 人	322 人	324 人	646 人	940 人	4,716 人	182 人
9 月(24 日)	1,553 人	1,385 人	2,938 人	328 人	280 人	608 人	1,054 人	4,600 人	192 人
10 月(25 日)	1,646 人	1,482 人	3,128 人	350 人	285 人	635 人	954 人	4,717 人	189 人
11 月(24 日)	1,544 人	1,375 人	2,919 人	290 人	229 人	519 人	855 人	4,293 人	179 人
12 月(23 日)	1,545 人	1,351 人	2,896 人	304 人	247 人	551 人	832 人	4,279 人	187 人
平成 23 年 1 月(23 日)	1,341 人	1,172 人	2,513 人	267 人	264 人	531 人	755 人	3,799 人	166 人
2 月(22 日)	1,420 人	1,178 人	2,513 人	277 人	283 人	560 人	776 人	3,934 人	179 人
3 月(26 日)	1,795 人	1,560 人	3,355 人	323 人	332 人	655 人	965 人	4,975 人	192 人
4 月(25 日)	1,502 人	1,322 人	2,824 人	306 人	316 人	622 人	933 人	4,379 人	176 人
5 月(23 日)	1,492 人	1,321 人	2,813 人	250 人	247 人	497 人	975 人	4,285 人	187 人
6 月(26 日)	1,767 人	1,582 人	3,349 人	298 人	282 人	580 人	1,152 人	5,081 人	196 人
合 計	18,926 人	16,589 人	35,515 人	3,618 人	3,341 人	6,959 人	11,199 人	53,673 人	—
平 均	1,578 人	1,383 人	2,960 人	302 人	279 人	580 人	934 人	4,473 人	183 人

○コミュニティバス1便当りの利用者数

年月	路線	祖父江・ 下津線	祖父江・ 下津線	平和・ 千代田線	平和・ 千代田線	大里 循環線 (6便)
		JR 稲沢駅 方面 (7便)	祖父江 方面 (8便)	市民会館 行き (4便)	千代田・ 平和方面 (4便)	
平成22年7月		9.1人	6.7人	3.2人	2.2人	6.5人
8月		9.2人	7.0人	3.1人	3.1人	6.0人
9月		9.2人	7.2人	3.4人	2.9人	7.3人
10月		9.4人	7.4人	3.5人	2.9人	6.4人
11月		9.2人	7.2人	3.0人	2.4人	5.9人
12月		9.6人	7.3人	3.3人	2.7人	6.0人
平成23年1月		8.3人	7.3人	2.9人	2.9人	5.5人
2月		9.2人	6.7人	3.1人	3.2人	5.9人
3月		9.9人	7.5人	3.1人	3.2人	6.2人
4月		8.6人	6.6人	3.1人	3.2人	6.2人
5月		9.3人	7.2人	2.7人	2.7人	7.1人
6月		9.7人	7.6人	2.9人	2.7人	7.4人
平均		9.3人	7.2人	3.2人	2.9人	6.4人



(2) コミュニティバスの曜日別利用者数

次の表は、平成22年7月1日から1年間における1日当りの利用者数を曜日別に示したものです。

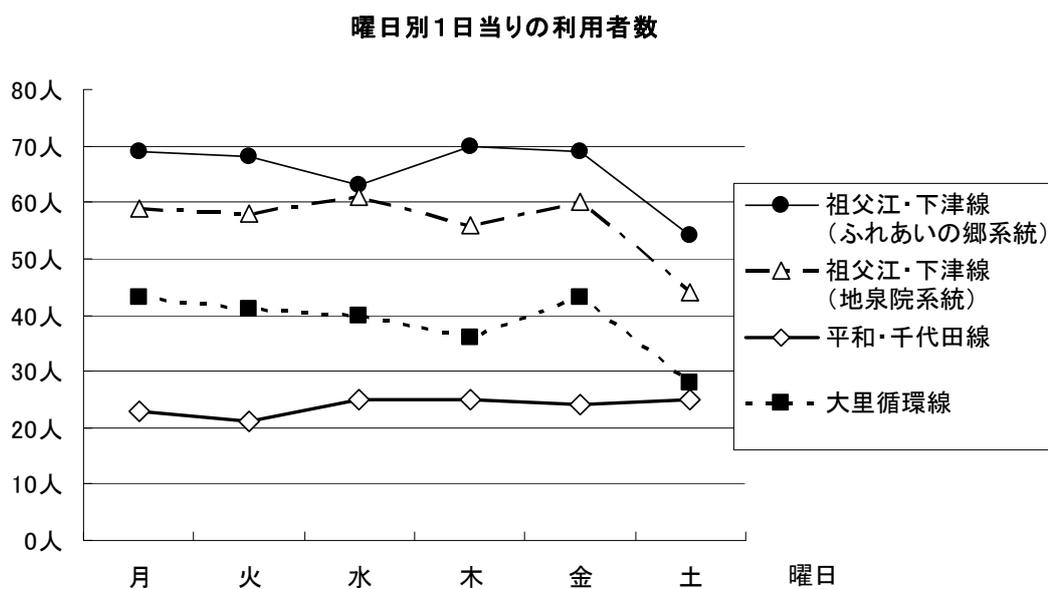
3路線とも月曜日から金曜日までの利用者数には大差ありませんが、土曜日における利用者数と平日における利用者数の平均を比較しますと、祖父江・下津線ふれあいの郷系統の土曜日は約21%の減、地泉院系統は約25%の減であり、平和・千代田線は約4%の増、大里循環線は約32%の減となっています。

平和・千代田線以外の路線は、土曜日の利用者数は、平日と比較して約4分の1少なくなっています。

○ 曜日別1日当りの利用者数

曜日	祖父江・下津線 ふれあいの郷系統	祖父江・下津線 地泉院系統	平和・千代田線	大里循環線
月曜日	69人	59人	23人	43人
火曜日	68人	58人	21人	41人
水曜日	63人	61人	25人	40人
木曜日	70人	56人	25人	36人
金曜日	69人	60人	24人	43人
土曜日	54人	44人	25人	28人
平日の平均	68人	59人	24人	41人

次のグラフは、曜日別1日当りの利用者数を幹線別に示したものです。



(3) コミュニティバスの追加便運行状況

定員超過発生時に運行した追加便の台数は、1日当りに換算すると、祖父江・下津線 JR 稲沢駅方面が 0.2 台、同祖父江方面が 0.1 台、平和・千代田線市民会館・中央図書館行きが 0.04 台、同線千代田・平和方面が 0 台、大里循環線が 0.05 台と、試行運行期間における追加便の1日当りの運行台数（東西幹線上り 1.0 台、下り 1.2 台）と比べて大幅に減少し、恒常的に追加便が運行されていた状況は解消しました。

定員超過発生の解消を目的として乗車定員 14 人の運行車両を祖父江・下津線に導入したこと、また、利用者が多い「アピタ稲沢店～市民会館・中央図書館」の区間を祖父江・下津線と大里循環線の路線で重複運行したことの効果が現れています。

なお、追加便が多い便は、祖父江・下津線 JR 稲沢駅方面第 3 便、同線祖父江方面第 2 便、大里循環線第 1 便となっています。

○ 各路線の追加便運行状況

()は 運行日数	祖父江・下津線 JR 稲沢駅方面		祖父江・下津線 祖父江方面		平和・千代田線 市民会館行き		平和・千代田線 千代田・平和方面		大里循環線	
	台数	人数	台数	人数	台数	人数	台数	人数	台数	人数
平成 22 年 7 月(26 日)	3 台	8 人	0 台	0 人	4 台	12 人	0 台	0 人	2 台	4 人
8 月(26 日)	7 台	22 人	2 台	3 人	2 台	4 人	0 台	0 人	1 台	1 人
9 月(24 日)	5 台	14 人	4 台	10 人	1 台	1 人	0 台	0 人	3 台	4 人
10 月(25 日)	4 台	8 人	1 台	1 人	2 台	6 人	0 台	0 人	3 台	7 人
11 月(24 日)	7 台	26 人	4 台	11 人	0 台	0 人	0 台	0 人	1 台	2 人
12 月(23 日)	4 台	9 人	2 台	5 人	0 台	0 人	0 台	0 人	0 台	0 人
平成 23 年 1 月(23 日)	4 台	4 人	0 台	0 人	0 台	0 人	0 台	0 人	1 台	3 人
2 月(22 日)	2 台	6 人	0 台	0 人	1 台	1 人	0 台	0 人	0 台	0 人
3 月(26 日)	10 台	26 人	5 台	14 人	0 台	0 人	0 台	0 人	2 台	4 人
4 月(25 日)	3 台	4 人	2 台	5 人	1 台	2 人	0 台	0 人	0 台	0 人
5 月(23 日)	1 台	4 人	1 台	5 人	0 台	0 人	0 台	0 人	1 台	2 人
6 月(26 日)	8 台	22 人	1 台	1 人	0 台	0 人	0 台	0 人	1 台	4 人
合 計	58 台	153 人	22 台	55 人	11 台	26 人	0 台	0 人	15 台	31 人
平 均 (1 か月当り)	4.9 台	12.8 人	1.9 台	4.6 人	0.9 台	2.2 人	0 台	0 人	1.3 台	2.6 人
平 均 (1 日当り)	0.2 台	0.5 人	0.1 台	0.2 人	0.04 台	0.09 人	0 台	0 人	0.05 台	0.1 人

3 コミュニティタクシーの利用状況

祖父江町地内のコミュニティタクシーは、運行路線の変更、運行便数の増加に伴って、乗り場の新設・移設、バス停留所への変更等を行いました。が、乗り場数12か所に変更はありません。

また、タクシー乗り場と接続するバス停留所は、施設の休館日、利用者の安全面を考慮して「祖父江の森」から「祖父江支所」に変更しています。

平成22年7月1日から1年間の利用者数は、次の表のとおりです。

コミュニティタクシーの1か月当りの平均利用件数は1.5件と、試行運行期間中の同件数4.5件より低調となっています。

これは、定期的な利用があったタクシー乗り場「中屋敷」、「長岡」、「神明津」、「中牧」をバス停留所に変更したことが理由の一つであると考えております。

しかしながら、新たに設置したタクシー乗り場4か所のうち「馬飼」、「大牧」の利用はあるものの、利用は全体として低調でありますので、今後もコミュニティタクシーの利用案内等を始めとした、より一層のPRに努めて利用促進に取り組んでまいります。

○ コミュニティタクシーの利用件数及び利用者数

年 月	利用件数	利用者数
平成22年7月	3件	4人
8月	1件	1人
9月	0件	0人
10月	2件	6人
11月	2件	2人
12月	2件	2人
平成23年1月	0件	0人
2月	0件	0人
3月	4件	6人
4月	0件	0人
5月	2件	2人
6月	2件	2人
計	18件	25人
1か月の平均	1.5件	2.1人

○ コミュニティタクシーの区間別利用状況

往路（各タクシー乗り場⇒停留所「祖父江支所」）

	乗車 停留所	利用件数 ※（ ）は人数	月計 ※（ ）は人数
平成 22 年 7 月	富士美ヶ丘	1 件 (1 人)	2 件 (3 人)
	ナビタウン	1 件 (2 人)	
8 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
9 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
10 月	甲新田	1 件 (3 人)	1 件 (3 人)
11 月	ナビタウン	1 件 (1 人)	2 件 (2 人)
	富士美ヶ丘	1 件 (1 人)	
12 月	富士美ヶ丘	1 件 (1 人)	2 件 (2 人)
	富士美ヶ丘	1 件 (1 人)	
平成 23 年 1 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
2 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
3 月	馬 飼	1 件 (1 人)	3 件 (5 人)
	馬 飼	1 件 (3 人)	
	富士美ヶ丘	1 件 (1 人)	
4 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
5 月	野田北	1 件 (1 人)	1 件 (1 人)
6 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
合 計	—	11 件 (16 人)	11 件 (16 人)

復路（停留所「祖父江支所」⇒各タクシー乗り場）

	降車 停留所	利用件数 ※（ ）は人数	計 ※（ ）は人数
平成 22 年 7 月	山 崎	1 件 (1 人)	1 件 (1 人)
8 月	大 牧	1 件 (1 人)	1 件 (1 人)
9 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
10 月	甲新田	1 件 (3 人)	1 件 (3 人)
11 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
12 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
平成 23 年 1 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
2 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
3 月	馬 飼	1 件 (3 人)	1 件 (3 人)
4 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
5 月	野田北	1 件 (1 人)	1 件 (1 人)
6 月	大 牧	1 件 (1 人)	2 件 (2 人)
	大 牧	1 件 (1 人)	
合 計	—	7 件 (11 人)	7 件 (11 人)

4 試行運行期間と本格運行開始後におけるコミュニティバスの各種比較

(1) 各運行路線の1便当りの利用者数の比較

前述のとおり、平成22年7月1日以降のコミュニティバス運行路線は、2路線2系統（東西幹線、南北幹線）から3路線4系統（祖父江・下津線ふれあいの郷系統及び地泉院系統、平和・千代田線、大里循環線）に充実させて本格運行を開始しております。

試行運行期間中の東西幹線は祖父江・下津線に、南北幹線は平和・千代田線と大里循環線に変更されたものであり、各路線における平成20年7月1日の運行開始から1年目（7月1日から翌年6月30日まで。以下同。）、2年目及び3年目の利用状況の推移をグラフにより比較してみます。

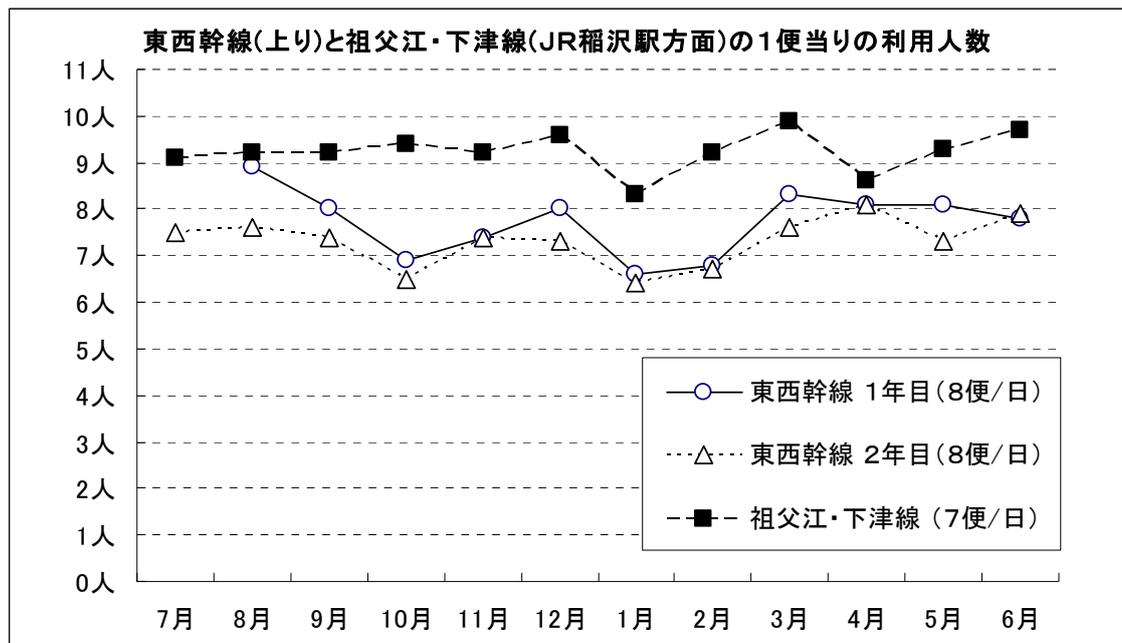
なお、すべてのグラフにおいて路線は進行方向が同じものを比較しており、無料運行期間であった平成20年7月の1か月間の利用者数は除いてあります。

グラフ1は、東西幹線上り（ふれあいの郷⇒下津市民センター）と祖父江・下津線JR稲沢駅方面（ふれあいの郷及び地泉院前⇒リーフウォーク稲沢）の比較です。

祖父江・下津線JR稲沢駅方面は東西幹線の運行便と比べて1便減少しましたが、各月において東西幹線を上回る利用者数が続いています。

東西幹線上り、祖父江・下津線JR稲沢駅方面とも冬季（12～2月）にかけて利用者数が減少したものの、春季（3月～5月）になると増加傾向となったため、寒暖差による自然減が主な要因と考えています。

グラフ1

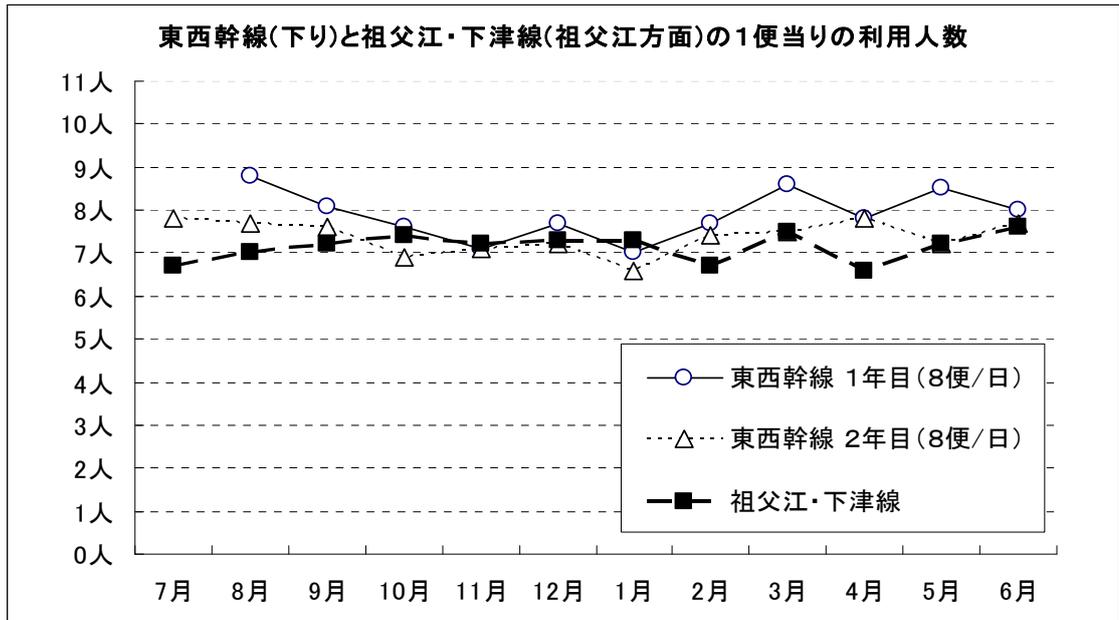


グラフ2は、東西幹線下り（下津市民センター⇒ふれあいの郷）と祖父江・下津線祖父江方面（リーフウォーク稲沢⇒ふれあいの郷または地泉院前）の比較です。

祖父江・下津線祖父江方面は東西幹線の運行便と同じ8便ですが、東西幹線下り1年目の利用者数より減少しています。

東西幹線下り、祖父江・下津線祖父江方面とも、冬季（12～2月）にかけての利用者数は微小となっており、恒常的に利用されていることがわかります。

グラフ2

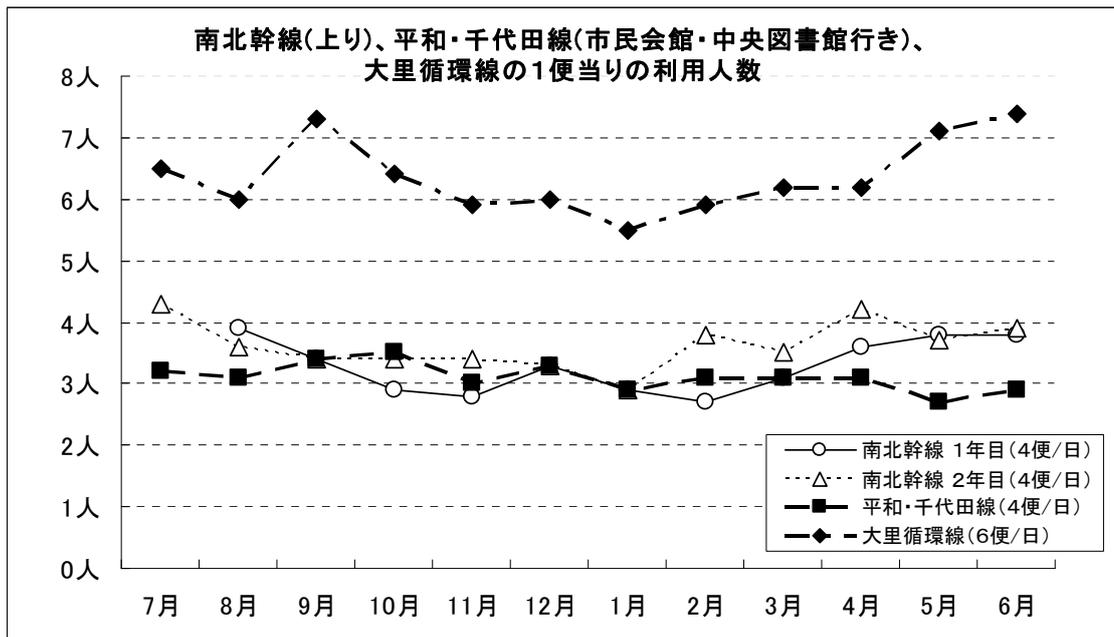


10 ページのグラフ3は、南北幹線上り（ヨシヅヤ平和店⇒国府宮駅）、平和・千代田線市民会館・中央図書館行き（平和支所・らくらくプラザ⇒市民会館・中央図書館）及び大里循環線の比較です。

南北幹線上り及び平和・千代田線市民会館・中央図書館行きの1日当りの利用者数は3人前後で推移しており、本格運行開始後も利用者の大幅な増加は見られません。

なお、大里循環線は、一部の区間（アピタ稲沢店～市民会館・中央図書館）を祖父江・下津線と重複して運行しているため、その区間における利用者が多くなっています。

グラフ3

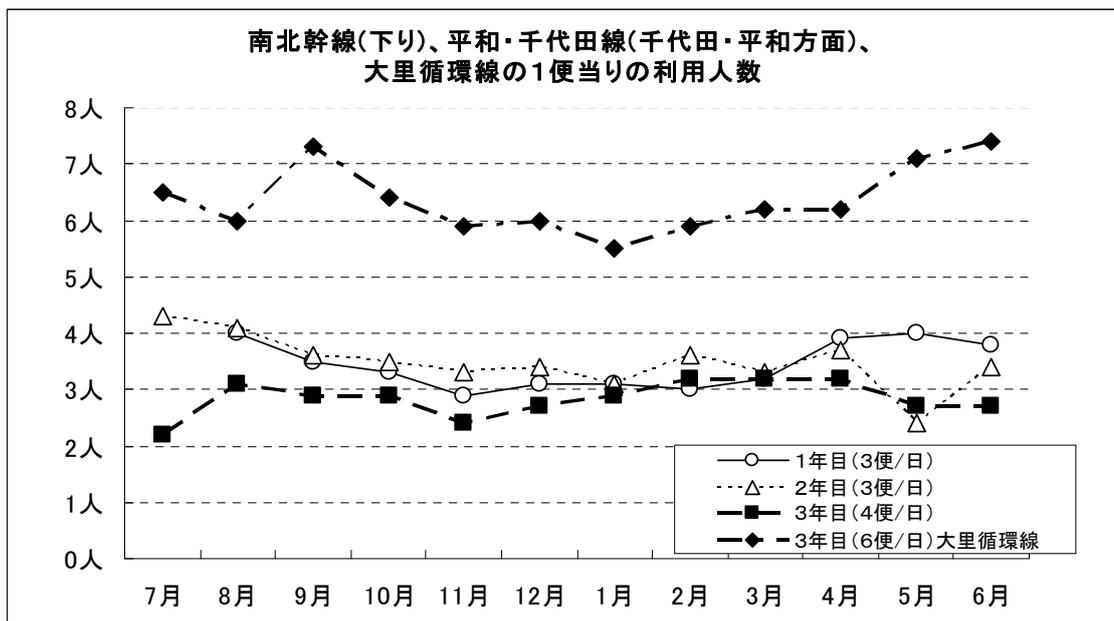


グラフ4は、南北幹線下り（国府宮駅⇒ヨシヅヤ平和店）、平和・千代田線千代田・平和方面（市民会館・中央図書館⇒ヨシヅヤ平和店）及び大里循環線の比較です。

南北幹線下り及び平和・千代田線千代田・平和方面の1日当りの利用者数も3人前後で推移しており、本格運行開始後も利用者の大幅な増加は見られません。

なお、通常、利用者数は冬季と比べて春季（3月～5月）には増加傾向となりますが、平和・千代田線千代田・平和方面のみ減少しておりますので、今後の利用状況の推移を精査してまいります。

グラフ4



(2) 各運行路線の利用者1人当りの運行経費における市負担額の比較

コミュニティバスの運行経費における市負担額は、運行事業者（名鉄西部交通株式会社）と契約した運行管理委託料から利用料金を差し引きした額となります。

そのため、市が負担する運行経費は、利用者数が多いほど少なくなります。

今後、限られた財源の中で利便性の向上を目指して『コミュニティバス運行事業計画』の見直しを検討していく上で、運行経費は重要な項目の一つであると考えます。

前項と同様にして、各路線における平成20年7月1日の運行開始から1年目、2年目及び3年目の利用者1人当たりの運行経費における市負担額の推移をグラフにより示しながら、比較をまいります。

なお、平成20年7月の1か月間は無料運行期間であったため、当月の運行経費は除いてあります。

【利用者1人当たりの運行経費の積算数値】

項 目	金 額	備 考
東西幹線	1日1台当り 40,400円	平成20年7月1日～平成21年3月31日
	1日1台当り 41,000円	平成21年4月1日～平成22年6月30日
南北幹線	1日1台当り 40,400円	平成20年7月1日～平成21年3月31日
	1日1台当り 47,600円	平成21年4月1日～平成22年6月30日
祖父江・下津線 ふれあいの郷系統	1日1台当り 43,800円	平成22年7月1日～平成23年3月31日
	1日1台当り 44,500円	平成23年4月1日～平成23年6月30日
祖父江・下津線 地泉院系統	1日1台当り 42,900円	平成22年7月1日～平成23年3月31日
	1日1台当り 43,100円	平成23年4月1日～平成23年6月30日
平和・千代田線	1日1台当り 39,500円	平成22年7月1日～平成23年3月31日
	1日1台当り 38,900円	平成23年4月1日～平成23年6月30日
大里循環線	1日1台当り 38,500円	平成22年7月1日～平成23年3月31日
	1日1台当り 38,000円	平成23年4月1日～平成23年6月30日

大里駅乗り入れ 構内営業料	1月あたり 8,453円	平成20年8月1日～平成22年6月30日は、南北幹線の運行経費に計上 平成22年7月1日～平成23年6月30日は、大里循環線の運行経費に計上
国府宮駅乗り入れ 構内営業料	1月あたり 24,000円	平成22年7月1日～平成23年6月30日において、3路線2系統の運行経費に按分して計上
追 加 便	距離制運賃	追加便を運行した路線の運行経費に計上

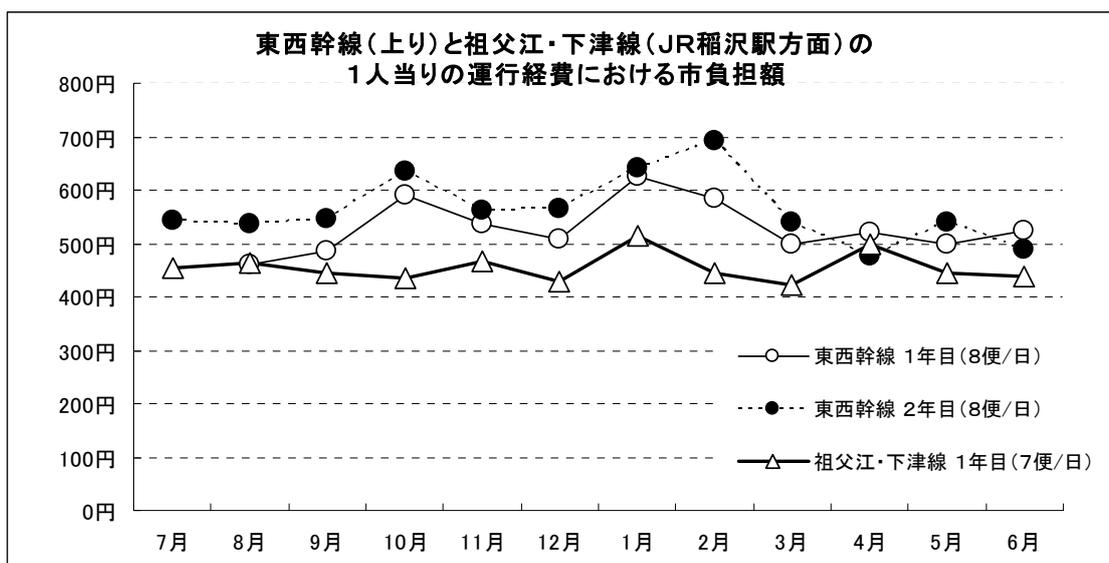
グラフ5は、東西幹線上り（ふれあいの郷⇒下津市民センター）と祖父江・下津線JR稲沢駅方面（ふれあいの郷または地泉院前⇒リーフウォーク稲沢）の比較です。

東西幹線上りは、運行1年目の平成21年1月に利用者1人当りの運行経費における市負担額が625円と最も高く、同年2月と平成20年10月を除いて、460円～540円前後で推移しています。

同線の2年目は、平成22年2月に693円を最高として、同年1月に642円、平成21年10月に635円と、600円を上回り、他は530円～560円前後で推移しています。

祖父江・下津線JR稲沢駅方面は各月において東西幹線を上回る利用者数が続いていることから、1日1台当りの運行経費は以前より増額（6～10%）となったにもかかわらず、利用者1人当りの運行経費は平成23年1月の515円（最高額）、同年4月の499円を除いて、他の月は東西幹線より少額の430円～460円前後で推移しています。

グラフ5



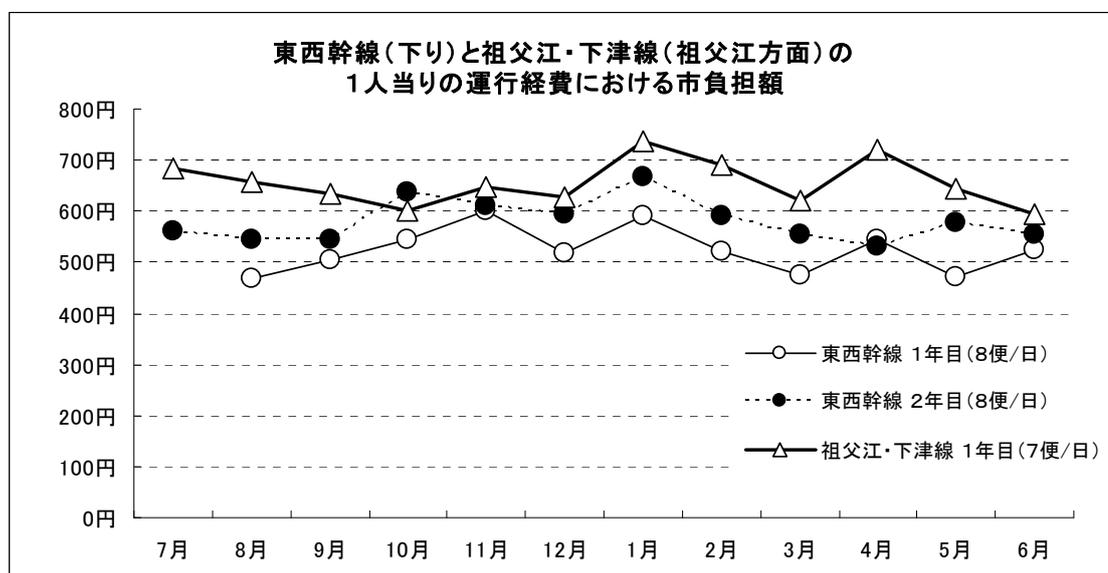
グラフ6は、東西幹線下り（下津市民センター⇒ふれあいの郷）と祖父江・下津線祖父江方面（リーフウォーク稲沢⇒ふれあいの郷または地泉院前）の比較です。

東西幹線下りは、運行1年目の平成20年11月の601円が最も高く、平成21年1月の590円を除いて、他は470円～540円前後で推移しています。

同線の2年目は、平成22年1月の667円を最高として590円を上回る月が5回あり、他は530円～570円前後で推移しています。

祖父江・下津線祖父江方面は、東西幹線下り1年目の利用者数より減少したこと、また、1日1台当りの運行経費が増額（4～6%）したこともあり、平成23年1月の736円を最高として700円を上回る月が2回あり、他の月も600円～690円前後で推移しており、東西幹線と比べて若干高額となっています。

グラフ6



14 ページのグラフ7は、南北幹線上り（ヨシヅヤ平和店⇒国府宮駅）、平和・千代田線市民会館・中央図書館行き（平和支所・らくらくプラザ⇒市民会館・中央図書館）及び大里循環線の比較です。

南北幹線上りは、運行1年目の平成21年2月の1,964円を最高として1,700円を上回る月が5回あります。

同線の2年目は、平成22年1月の2,068円を最高として1,700円を上回る月が8回あり、全体として1年目よりも高額となっています。

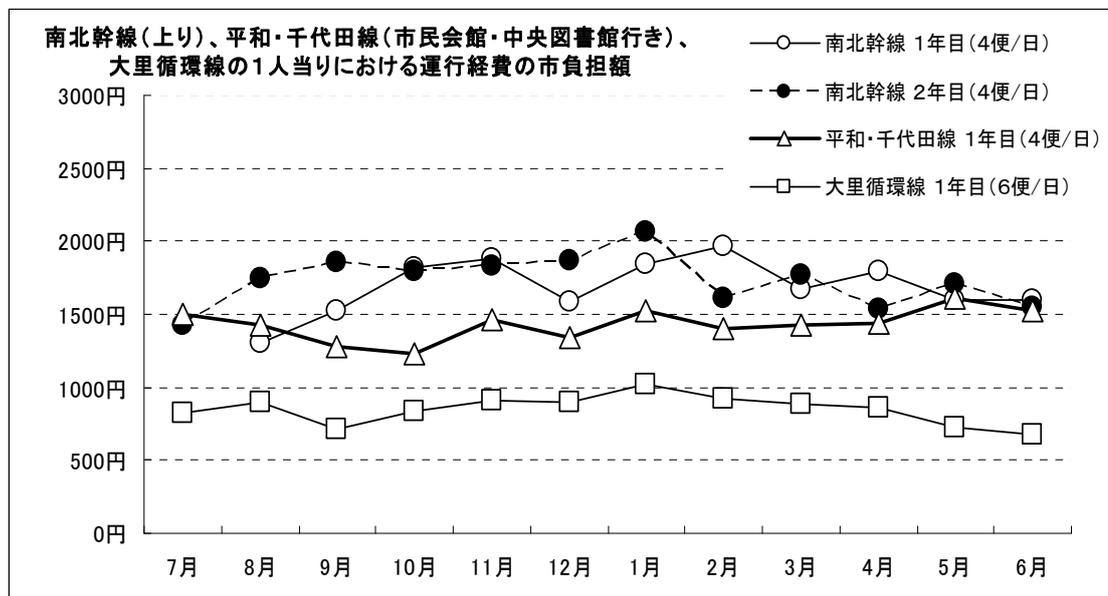
平和・千代田線市民会館・中央図書館行は、平成23年5月の1,610円を最高とし、南北幹線上りの1年目、2年目と比較して少額となっていますが、これは1日1台当りの運行経費が減額（2～18%）となったことによるものです。

大里循環線は、前述のように祖父江・下津線と一部区間を重複して運行しており、単純に南北幹線と比較できるものではありませんが、その分利用者が多くなっているため、平成23年1月の1,015円を最高として、他の月は1,000円を下回る状況にあり

ます。

また、同年6月は674円、平成22年9月は709円と、700円前後の月もありますので、今後、運行路線の見直しを検討するにおいて参考にするべき点であると考えています。

グラフ7



15 ページのグラフ8は、南北幹線下り（国府宮駅⇒ヨシヅヤ平和店）、平和・千代田線千代田・平和方面（市民会館・中央図書館⇒ヨシヅヤ平和店）及び大里循環線の比較です。

南北幹線下りは、運行1年目の平成20年11月の1,823円を最高として1,700円を上回る月が3回あります。

同線の2年目は、平成22年5月の2,042円を最高として1,700円を上回る月が10回あり、全体として1年目よりも高額となっています。

平和・千代田線千代田・平和方面は、平成22年11月の1,893円を最高として1,700円を上回る月が2回ありますが、南北幹線下りと比べて運行便数が1便多い4便であること、また、1日1台当りの運行経費は減額（2～18%）となっていることから、南北幹線下りより少額となっています。

大里循環線は循環型路線であり、グラフ7と同じデータを掲載しているため、説明は省略します。

グラフ 8

